

平成 22 年度 学校評価報告書 I

学校番号・学校名	福岡市立博多小学校	
学校長氏名	ふりがな 漢字	にし ゆうじ 西 祐治
校長本校在籍年数	1年	

学校関係者	ふりがな	よこみぞ しんいちろう
評価代表者氏名	漢字 役職等	横溝 紳一郎 大学教授

学校経営方針・学校教育方針	今年度の重点目標
【学校経営方針】 自分を取り巻く「ひと・もの・こと」との絆を大切にしながら、地域と共に歩むことができる、人間力を身につけた「博多っ子」の育成	(1) 明るい子供の育成・・・心のこもった挨拶、決まりを守る、自信を持てる、あいてを思いやれる (2) 考え深い子供の育成・・・話を聞ける、自分の考えを話せる、進んで学習できる、学習の仕方が身につけている、認め合い・支え合い・磨きあえる (3) 強い子供の育成・・・強い意志を持ち最後までやり抜く (4) 博多を愛し、博多に誇りを持つ子の育成
○開校13年目、基礎・基本に振り返り、「博多っ子」の育成とその姿の発信に努める。	

評価項目	目標及び指標等		自己評価	自己評価についての説明	学関評価	学校関係者評価についての説明	今後に向けての方針・改善点
	目標	指標 <指標ごとの評価>					
教育課程 学習指導	<ul style="list-style-type: none"> <li>基礎的・基本的学習の内容の定着を図り、全学年の学力を向上させる</li> <li>授業時数の確保について徹底させる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>授業改善のポイント3を実践し、交換授業・習熟度別授業専科制の授業などを行う。</li> <li>二学期制を生かして、全校一斉テストで学力を上げる。</li> </ul>	A A	<ul style="list-style-type: none"> <li>授業改善ポイント3については、全職員実践できてた。交換授業・専科制も本年度取り組むことが出来た。</li> <li>年5回の全校一斉テストで学力が向上してきている。</li> </ul>	A	<ul style="list-style-type: none"> <li>全ての先生が学力向上に向けて取り組んでいた。</li> <li>全国学力調査の結果も向上している。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>学力の向上と授業力の向上をあわせて伸ばしていけるよう、今後研修を重ねていく必要がある。</li> </ul>
	<ul style="list-style-type: none"> <li>漢字・計算の基礎基本の確実な定着を図る。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>算数チャレンジテスト、漢字チャレンジテストで各クラス90点以上を目指す。</li> <li>朝の15分間の学習の徹底</li> </ul>	B A	<ul style="list-style-type: none"> <li>夏季休業中の漢字テストと前期学習診断テストともに60点以下がまだ見受けられる学年がある。</li> <li>博多タイムは、徹底できた。</li> </ul>	A	<ul style="list-style-type: none"> <li>平均点90点以上は達成していないものの、全体のチャレンジテストにより学力は向上している。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>更なる学力の向上を希望する。</li> </ul>
生徒指導	<ul style="list-style-type: none"> <li>いじめ・不登校を生まない取り組みの徹底を図る。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>気になる児童については、全職員で対応して、家庭・地域と連携していじめ・不登校0を目指す。</li> <li>職員一人一人が心に寄り添う指導を行う。</li> </ul>	A B	<ul style="list-style-type: none"> <li>不登校は0である。いじめも現在報告されている事案は起こっていない。</li> <li>家庭環境が厳しい子どもの家庭には、随時担任による家庭訪問を行い何でも話せる体制路作ってきた。</li> </ul>	A	<ul style="list-style-type: none"> <li>不登校・いじめ0は素晴らしい。これからも先生方の努力でこれを続けてほしい。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>不登校を絶対出さない。いじめは絶対許さないという信念をもって毎日の指導にあたる事が大切である。</li> </ul>
	<ul style="list-style-type: none"> <li>体罰によらない指導の徹底</li> </ul>						
保護者・地域との連携	<ul style="list-style-type: none"> <li>地域の文化財や伝統文化等の教育資源の活用を図る。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>生活・総合の学習を中心に地域の「ひと・もの・こと」を取り上げ地域を愛する子どもを育てる。</li> <li>保護者・地域の支援を受けながら、学習を地域に発信する。二月に地域に向けた、教育内容の発表会を行う。</li> </ul>	A A	<ul style="list-style-type: none"> <li>博多小校区は、日本一の教材の宝庫、神社仏閣・商店街・文化施設・祭り・熱い地域の人などを積極的に取り上げた学習を行った。</li> <li>2月10日に教育内容説明会を行った。学校の1年間の取り組みを報告した。</li> </ul>	A	<ul style="list-style-type: none"> <li>保護者向けの教育内容説明会は非常にわかりやすくよかった。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>来年度も、学校教育内容説明会を通して学校の説明責任を果たしてほしい。</li> </ul>
	<ul style="list-style-type: none"> <li>学校の環境整備の充実を図る。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>安心して活動ができるよう設備の安全を毎日見ることと、児童が学ぶことができる掲示物をつくる。</li> <li>緊急事態が発生した時、組織で対応すること。緊急配信メールを利用する。</li> </ul>	B A	<ul style="list-style-type: none"> <li>毎日巡回を行い、学級の様子や施設・設備等の安全を確認した。</li> <li>怪我などの緊急事態に対して、組織的に連絡を行い、万全な体制ができたと思う。緊急配信メールも活用できている。</li> </ul>	B	<ul style="list-style-type: none"> <li>施設の構造上、管理が大変だと思う。地域・保護者を含めた安全管理の方法を工夫する余地があるかもしれない。掲示板もよく工夫されていると思う。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>けが多いので、落ち着いた学校生活を送れるよう、心の教育を充実させてほしい。</li> </ul>
研修	<ul style="list-style-type: none"> <li>倫理・サービスの研修を充実させる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>不祥事を絶対博多小から出さない。毎日、新聞の切り抜きを全職員に配布して、自覚を促す。事例研修</li> <li>週一回の終礼で、体罰・セクハラ・情報漏洩・飲酒運転等について、注意を促す。</li> </ul>	A A	<ul style="list-style-type: none"> <li>教育に関すること、地域に関すること、不祥事に関することなどの記事は教頭が切り抜いて全職員にコピーして配布した。</li> <li>終礼で、不祥事の事例を話しながら職員の自覚を促した。(校長・教頭)</li> </ul>	A	<ul style="list-style-type: none"> <li>新聞等の情報の共有は、素晴らしいと思う。今後も続けてもらいたい。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>新聞の切り抜きのコピーを配布することを続けて不祥事を起こさないようにしてほしい。</li> </ul>